

文化

✉bunka@asahi.com

# 選挙ファッション重視、過去の話？

## 減る話題「批評する時代でない」

目前に迫るアメリカ大統領選。民主党候補は女性初の大統領を目指すカマラ・ハリス氏だが、過去に立候補したヒラリー・クリントン氏と比べると、そのファッションが話題にあがることは少ない。専門家は候補者が女性であっても「服装で候補者を批評する時代ではなくなってきた」と指摘する。

### 米大統領選



ディオールを着用したカマラ・ハリス氏 ©AP

9月10日、フィラデルフィアであった大統領選のテレビ討論会。ハリス氏は、仏ブランド「ディオール」の黒い上着とパンツといういでたちで登場した。上着は、ブランドを代表する定番の「バー」ジャケット。かっちりとしたスリットでありながら、ウエストを絞った柔らかなシルエットが特徴だ。

スーツで登場。画面越しに見えるニクソンのスーツはぼやけて見えたのに対し、ケネディのジャケットは白黒でも映えた。この日を境にケネディは劣勢を巻き返した。

8月22日にシカゴで開かれた党大会最終日には、濃紺のパンツスーツ姿。米メディアによると、仏ブランド「クロエ」のものであったという。米国の大統領選において、ファッションは重要な要素を占めてきた。その発端となったのが1960年、初めてのテレビ討論会が開かれた時だ。ニクソンはグレー、若きケネディは体に沿った濃紺の

中でも、過去もっとも服装が注目を集めた政治家はヒラリー・クリントン氏だ。「人生の大半において服装に関心を払ったことはなかった」と自伝で振り返るクリントン氏だが、ファーストレディーの時から、髪形を何度も変えればその精神状態まで問題視され、パンツスーツを着れば批判されるなど、そのファッションは常に批評の対象になっていた。自身も政治家になりやがて大統領選の候補となると、力強い赤やクリーンな白の「勝負服」で、「女性のパワー」を強調した。

## ハリス氏、色彩抑え お決まりスタイル／注目集める応援グッズ

だが、ハリス氏は「色彩を抑えたパンツスーツにパールのアクセサリー」というお決まりのスタイルを繰り返し、そのファッションが話題にあがることは少ない。つけているパールも出身大学の黒人系女子学生の社交クラブのメンバーであったことを示すものだ。

服飾史家の中野香織さんは、こうしたハリス氏のスタイルについて、「『私はファッションではなく、政治で実力を示す』というメッセージが明確に伝わってくる」と評価する。

共和党のドナルド・トランプ氏も、「一貫性」が際立っている。伊ブランド「ブリーオーニ」を始めとする上質なスーツは、やや大きめのシルエットで、共和党を象徴する赤のネクタイは長め。ジャケットのボタンを留めずに公の場に出るスタイルが定番だ。

こうしたグッズは、支持者たちが身につけ、SNSで拡散することで仲間意識を高め、政治への関心を高めるツールとなっている。

ハリス氏のファッションが批評の対象にならなくなったことについて、ファッションジャーナリストの栗山愛以さんは、「クリントン氏の服装が、女性であることを利用している」とも見られた過去から学んでいるから」と分析する。「政治家の装いには、同

ペンシルロケット

長さ23センチの小さなロケットで、1965年に故・糸川英夫博士が発射実験に成功した。実験を記録するために上ではなく水平方向に飛ばしたんだ。

5251

(松沢奈々子)